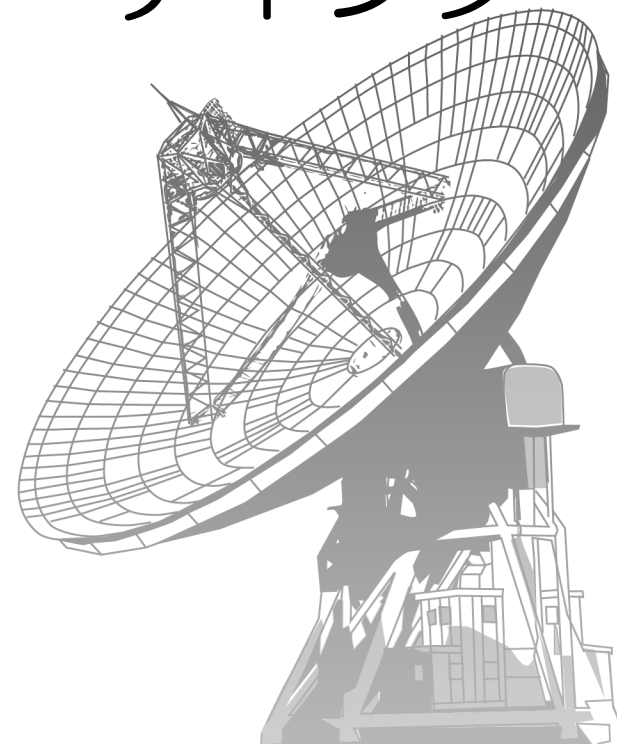




第1回 長野県星空継続観察ミーティング in 塩尻

世話人：

衣笠 健三、百瀬雅彦、宮地美由紀、
山本良一、陶山徹、森由貴



プログラム

12:15- 受付開始

12:30- 趣旨説明(国立天文台野辺山 衣笠 健三)

12:40- 参加メンバー自己紹介など

12:50-「全国星空継続観察」の再開と概要について(星空公団 小野間史樹)

13:45-「全国星空継続観察」への質疑応答

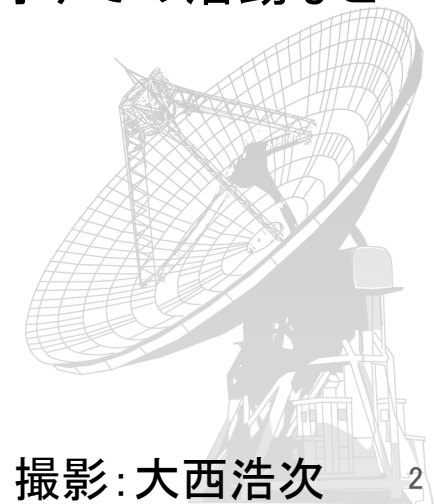
(14:00- 休憩)

14:10- 長野県星空測定方法と今後の提案(マナスル山荘天文館 山本良一)

14:40- 木曾観測所周辺での夜空の暗さ測定(東大木曾観測所 征矢野隆夫)

15:00- 議論:夏の長野県星空測定の実施に向けて、今後に向けての活動など

16:00 終了





2012/12/13 @ KISO Observatory by Kouji Ohnishi

July 7, 2018

長野県星空継続観察ミーティング in 塩尻

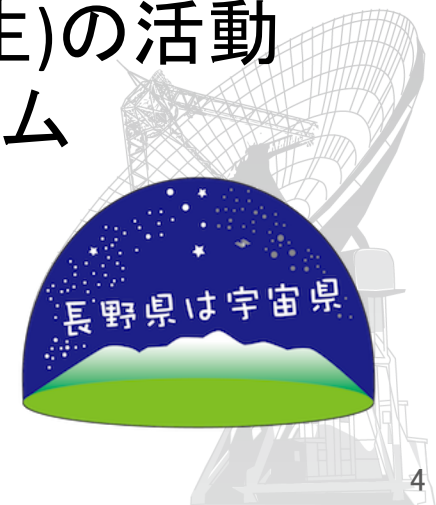
撮影: 大西浩次



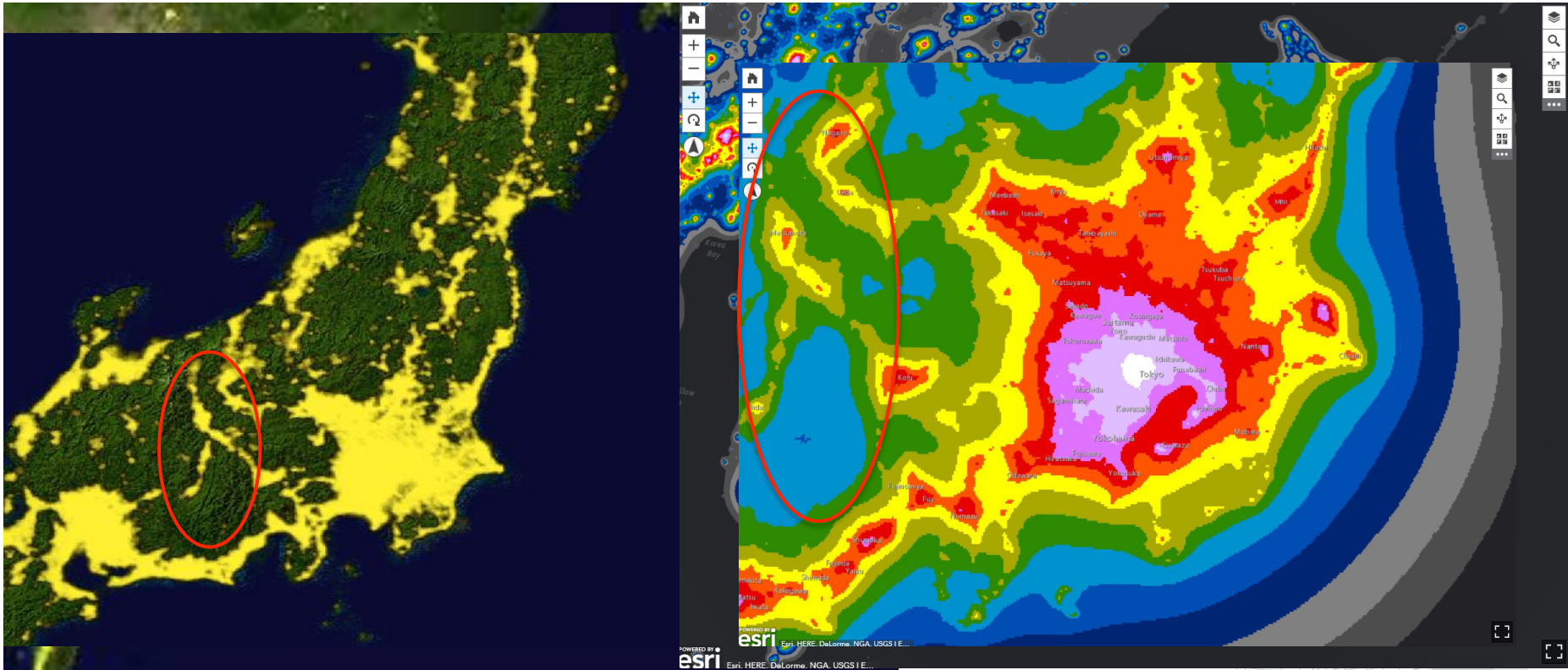
ミーティング趣旨

モチベーション

- 長野県は本当に暗いのか？
- 環境省星空継続観察の再開
 - 星空の街・あおぞらの街全国大会in 信州南牧村
 - 7/6(昨日!) 夏の継続観察のリリース
- 県内での星空測定の実績(第2回ミーティングより)
 - 長野市周辺、塩尻星の会、木曾観測所、
県プラ、信州総文祭(高校生)の活動
- 星空を観光資源とする動き・宇宙ツーリズム
 - 「星取県」・星空保護条例
 - 石垣市、竹富町・星空保護区
- 「長野県は宇宙県」の活動の一環として

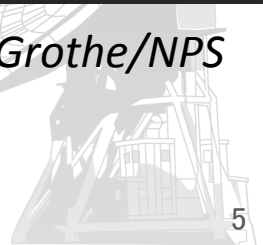


長野県は本当に暗いのか？



©国立情報学研究所

Credit: Falchi et al., Sci. Adv., Jakob Grothe/NPS contractor, Matthew Price/CIRES.



長野県は本当に暗いのか？

夜空の暗さを調べる試み

- 環境庁、星空公団による全国キャンペーン観察
 - 阿智村(H18夏季調査にて日本一)
- 塩尻星の会、県プラなどによる地域継続測定
- 信州総合文化祭(2018年)にて高校生の発表予定
- 一眼デジタルカメラ、スカイクオリティメータを使用

長野県には夜空の暗いところはたくさんある。
都市部では明るくても、自家用車で30分～1時間圏内で
夜空の暗いところに到着することができる。
標高が高いと星の光が失われずに届く。

星空の街、あおぞらの街 全国大会 in 信州南牧村



ホーム > 報道・広報 > 報道発表資料 > 冬の星空を観察してみませんか

平成29年12月11日 | 大気環境 | この記事を印刷

冬の星空を観察してみませんか

環境省では、星空観察を通じて光害（ひかりがい）や大気汚染等に基づき、環境保全の重要性について関心を深めていただくこと、また、良好な大気環境や美しい星空を地域資源（観光や教育）としても活用していただくことを目指し、星空観察を推進しています。

今年度は、平成30年1月6日（土）から1月15日（月）の10日間を、肉眼による冬の星空の観察期間としました。この機会に、是非、星空の観察に取り組んでみてください。

1. 趣旨

環境省では、屋外照明による光害を防止することが重要になってきている等を踏まえ、「星空観察の推進手法に関する検討会」を開催しました。その検討結果として、本年10月の「第29回星空の街・あおぞらの街全国大会in信州南牧村」において、今年の冬から肉眼による星空観察を、また、来年の夏からデジタルカメラによる星空観察を呼びかけていくことを報告したところです。

今年度は、次の期間を肉眼による冬の星空の観察期間としました。

星空観察は、環境保全の重要性について関心を深めていただく良い機会となります。また、星空を地域資源として宿泊客の誘致に活用する動きも各地で見られ、地域作りにも貢献します。この機会に、是非、星空の観察に取り組んでみてください。

2. 観察期間

平成30年1月6日（土）～1月15日（月）の10日間
（この期間に各自で1日以上観察してください）

3. 観察時間

日没後1時間半以降

4. 観察方法

肉眼による観察

- + 環境省のご案内
- + 政策分野・行政活動
- + 環境基準・法令等
- + 白書・統計・資料
- + 申請・届出・公募
- 報道・広報
 - ▶ 大臣記者会見・披露等
 - ▶ 報道発表資料
 - ▶ 行事予定
 - ▶ 環境省広報誌 エコジーン
 - ▶ メールマガジン&会員登録サイト
 - ▶ 環境省図書館のご案内
 - ▶ こどものページ
 - ▶ ビデオ・写真ライブラリ
 - ▶ 環境省動画チャンネル (YouTube)



環境省主催

長野県内では4回目!!
阿部知事も「長野県は宇宙県」に言及
環境大臣賞など3賞を県内団体個人へ

環境省、全国星空観察を再開へ!
(環境省ホームページより)



▶ 本文へ ▶ 音声読み上げ・文字拡大 ▶ 各種窓口案内 ▶ サイトマップ
日本語 | English

POWERED BY YAHOO! JAPAN 検索

トピックス一覧 新着情報一覧 報道発表一覧 環境Q&A

ホーム 環境省のご案内 政策分野・行政活動 環境基準・法令等 白書・統計・資料 申請・届出・公募 報道・広報

報道発表資料

ホーム > 報道・広報 > 報道発表資料 > 平成30年度 夏の星空観察について

平成30年7月6日

大気環境

この記事を印刷

平成30年度 夏の星空観察について

環境省では、星空観察を通じて光害（ひかりがい）や大気汚染等に気づき、環境保全の重要性について関心を深めていただくこと、また、良好な大気環境や美しい星空を地域資源（観光や教育）としても活用していただくことを目指し、星空観察を推進しています。

今年度は夏と冬の2回、肉眼による観察とデジタルカメラによる夜空の明るさ調査を呼びかけることとしており、夏の観察期間をご案内いたしますので、この機会に、是非、星空の観察に取り組んでみてください。

■ 1. 趣旨

環境省では、屋外照明による光害を防止することが重要になってきていること等を踏まえ、昨年度「星空観察の推進手法に関する検討会」を開催しました。その検討結果として、昨年度の冬から肉眼による星空観察を、また本年度からは、星空公園との共同で夏と冬の2回、肉眼による観察とデジタルカメラによる夜空の明るさ調査を呼びかけていくこととしました。

星空観察は、環境保全の重要性について関心を深めていただく良い機会となります。また、星空を地域資源として宿泊客の誘致に活用する動きも各地で見られ、地域作りにも貢献します。この機会に、是非、星空の観察に取り組んでみてください。

■ 2. 観察方法

- (1) 肉眼による観察
 - 1) 天の川の観察
 - 2) GLOBE AT NIGHT への参加によるはくちょう座周辺の星の観察
- (2) デジタルカメラによる夜空の明るさ調査

- + 環境省のご案内
- + 政策分野・行政活動
- + 環境基準・法令等
- + 白書・統計・資料
- + 申請・届出・公募
- 報道・広報
 - ▶ 大臣記者会見・談話等
 - ▶ 報道発表資料
 - ▶ 行事予定
 - ▶ 環境省広報紙 エコジーン
 - ▶ メールマガジン&会員登録サイト
 - ▶ 環境省図書館のご案内
 - ▶ こどものページ
 - ▶ ビデオ・写真ライブラリ
 - ▶ 環境省動画チャンネル (YouTube)

<http://www.env.go.jp/press/105671.html>



県内の活動実績など (第2回長野県は宇宙県ミーティングより)

長野市周辺(陶山さんの発表より)

塩尻市周辺(宮地さんの発表より)

長野市内の夜空 光害調査ポイントの変化



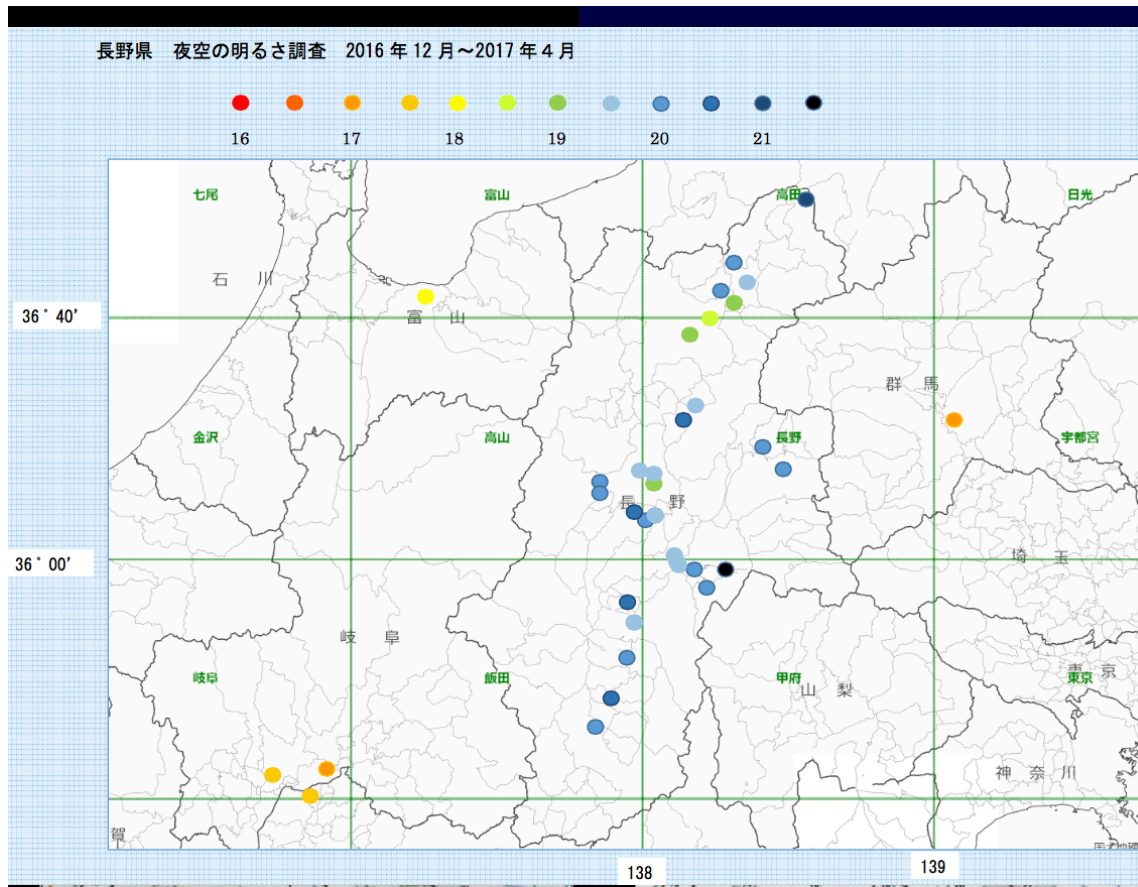
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
調査地点の数	9	23	18	37	68	78	83	87	82	70	90	90	76	77



県内の活動実績など (第2回長野県は宇宙県ミーティングより)

長野市周辺(陶山さんの発表より)

塩尻市周辺(宮地さんの発表より)

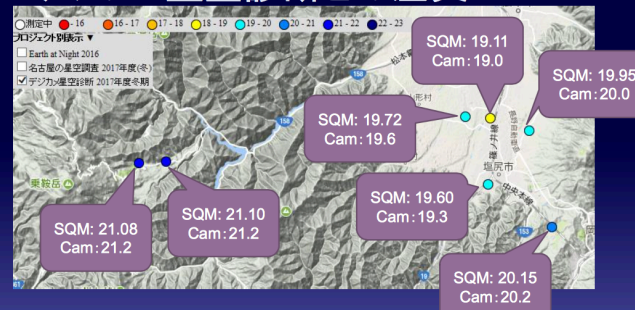


トの変化

2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
78	83	87	82	70	90	90	76	77



デジカメ星空診断との差異



県内(飯山高校の発表より)

July 7, 2018

長野県星空継続観察ミーティング in 塩尻

対象地域一覧図と写真等

⑨南阿蘇村

- ◆「星と火山と草原」と題し、トレッキングと星空の専門ガイドの2人で、通常立ち入れない夜の阿蘇山の大草原をめぐるツアーを開始。
- ◆震災からの創造的復興を目指す取組としても推進。



⑥和歌山市加太

- ◆関西以西で最大の高校生・大学生が利用できるロケット打上等実験場が在る。
- ◆「天空の城ラピュタ」のモデル地域の一つ「友ヶ島」を有する。



⑪石垣市

- ◆広い海に囲まれ、光害（ひかりがひ）の少ない貴重な自然環境。
- ◆石垣島天文台は、石垣島・八重山地域の地域及び観光振興、市民や子ども達への天文学に係る教育や生涯学習に寄与。街灯をライトダウンして天の川を楽しむ「南の島の星まつり」等も実施。



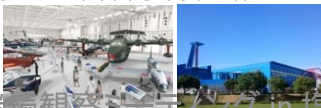
⑩鹿児島県種子島

- ◆日本最大のロケット発射場・種子島宇宙センター。ロケット打上げ時には、全国から多くの宇宙ファンが来訪。
- ◆最先端科学技術と、豊かな自然や文化が出会い「自然と技術と文化の融合」の実現を目指し、「種子島宇宙芸術祭」を開催。



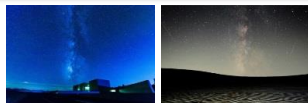
⑤岐阜県・各務原市・かがみはら航空宇宙科学博物館

- ◆国内最大規模の航空宇宙科学博物館（愛称「空宙博（そらはく）」）が3月リニューアルオープン。日本の航空宇宙技術史を俯瞰できる。「空・宇宙（そら）への挑戦」をテーマに、



⑦鳥取県

- ◆「星の見えやすさ」で全国1位。昨年、「星取県」としてブランディングスタート。
- ◆夜の鳥取砂丘、大山に広がる満天の星、星空を眺めながらの露天風呂、さじアストロパークに宿泊しながらの本格的な天体観測など宙コンテンツが豊富。



⑧井原市

- ◆美星天文台や日本三選星名所の井原市星空公園があり、流れ星伝説の地としても有名。
- ◆平成元年に「光害防止条例」を制定し、自動販売機や電飾看板の22時以降を消灯。



④八ヶ岳（山梨）

- ◆スターオーシャン八ヶ岳は、「天空リゾート」をテーマとする八ヶ岳観光圏の一部。
- ◆八ヶ岳をぐるりと取り囲む地域に多くの宿泊施設があること、星でおもてなしができる人材が多くいることを強みに、特に、冬場の集客が多い。



③長野県

- ◆「日本の屋根」と言われる平均標高全国一位の長野県。
- ◆国立天文台野辺山宇宙電波観測所や東京大学木曾観測所、JAXA臼田宇宙空間観測所など、数多くの天文観測研究施設を有し、阿智村や南牧村など、全国星空調査などで選抜される星空を数多く持つ。



①秋田県

- ◆高校生・大学生が利用できる、国内最大規模のロケット打上等共同実験場が在る。
- ◆県内にはJAXA能代ロケット実験場、三菱重工田代実験場など、国内有数のロケット燃焼実験場を有する。



②御宿町

- ◆約2kmにわたる真白の砂浜は童謡『月の沙漠』発祥の地。
- ◆町では、千葉工業大学が主催の「ロケットガールアンドボーイ養成講座首都圏版」の合宿が、また、燃焼実験や小型モデルロケットの打上げ等も実施。



●合同会社 科学成果普及機構 (東京都三鷹市)

- ◆国立天文台の持つ知財を活用し、三鷹に天文台ブランド力を高めるため設立。
- ◆4次元デジタル宇宙ビューワー「Mitaka」をインストールした「Mitaka 3Dポータブル」の販売、科学館・博物館等のプラネタリウムや展示等の映像コンテンツの制作等、イベントや天体観望会等の事業を実施。



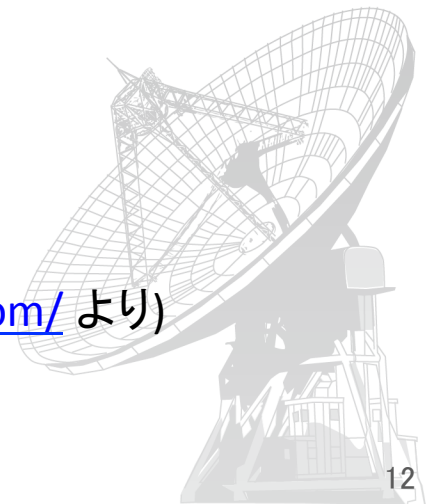
他の取り組みの例

「星取県」

- トップダウン体制？
- 「星空MAP」、「星取県シンボルマーク」
- 「鳥取県星空保全条例」(都道府県で初！)



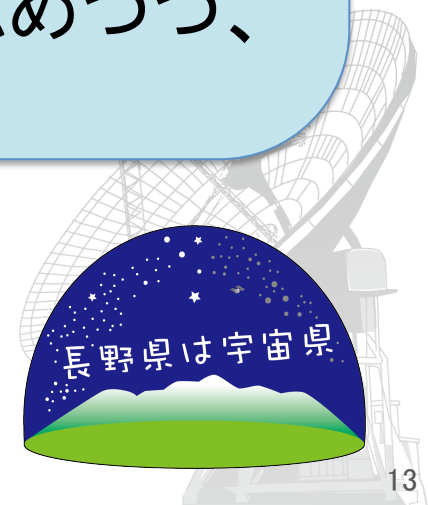
(<https://www.hoshitori.com/> より)



長野県は宇宙県

松本宣言

長野県がもつ「宇宙に近い」というすばらしい資産を多くの人たちと共有し、その魅力を広く伝えていくことにより、長野県の地域振興、人材育成、観光、天体観測環境維持に寄与することを目的とする。また、参加する団体・個人は、この目的のために、お互いの特徴を認めつつ、協力をし活動する。





July 7, 2018

長野県星空継続観察ミーティング in 塩尻

撮影: 山本勝也